

土砂防 だより



桜花の春 (田貫湖)

新年度のご挨拶	2
平成25年度の行事予定	
土砂災害防止月間	3
平成25年度砂防関係当初予算	4
あなたのまちの安全度	6
「土砂災害防止に関する絵画・作文」優秀作品の表彰	8
土砂災害警戒区域等の取り組み	10
インフォメーション	11
募集コーナー	12

速報 平成25年度 砂防関係当初予算

特集 あなたのまちの安全度

土砂災害防止に関する絵画・作文 優秀作品の表彰



新年度の御挨拶

新緑の候、会員の皆様には、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より砂防関係事業の推進に対しましては御支援御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年も九州北部豪雨による甚大な土砂災害を始め、全国各地で837件の土砂災害が発生しております。本県においても33件の土砂災害が発生しましたが、このうち10箇所で既設の擁壁などの防止施設により土砂や倒木から人家を保全する施設効果を発揮いたしました。県ではこのように土砂災害から県民の生命と財産を守る安全で安心して暮らせる社会を実現するため、防止施設の整備などのハード対策を鋭意進めてまいります。

また、ハード対策とともに、土砂災害による死者数0人を目指し、土砂災害警戒区域の指定などのソフト対策を推進する総合的な土砂災害対策を進めております。昨年度末で指定の対象となる15,193箇所の土砂災害危険箇所の内、約8千2百箇所約54%の指定を終了しました。今後も、土砂災害から人的被害を防ぐため、区域指定を推進し、また効果的な住民の警戒避難行動が行えるよう、市町の避難勧告の発令や住民の自主避難などを支援する土砂災害警戒情報の発表や警戒情報の捕捉情報、危険箇所図等のインターネットによる公表など、警戒避難行動を支援するソフト対策に取り組んでまいります。

いずれの施策につきましても、会員の皆様との協調、連携により初めて成果をなすものでありますので、会員の皆様方には、今後ともより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

平成25年4月1日

全国治水砂防協会静岡県支部 常任幹事

桜井 孝洋

交通基盤部河川砂防局砂防課

TEL 054-221-3044
FAX 054-221-3564

河川砂防局技監

桜井 孝洋

☎3040

砂防課長

八木 正道

☎3382

課長代理兼土砂災害対策班長

村松 武馬

☎3382

- 課長の代理
- 土砂災害対策班の総括

砂防班

傾斜地保全班

土砂災害対策班

班長代理

西川 茂

- 砂防班の総括
- 直轄砂防事業の調整

主査

佐野 裕庸

- 補助砂防事業
- 砂防技術基準

技師

河村 健春

- 災関砂防事業
- 演習場周辺地区障害防止事業
- 県単砂防事業

マイク
342

班長

杉本 敏彦

- 傾斜地保全班の総括

主査

古橋 衛

- 地すべり事業(林野)
- 県単急傾斜地事業
- 県費補助事業

主査

井上 泰孝

- 地すべり事業(国交)
- 地すべり事業(農地)
- 災関地すべり事業

土砂災害
110番
☎3042

☎3041

マイク
341

主査

油井 克之

- 避難体制整備促進
- 砂防・地すべり地の指定・指定地内行為

技師

小松 直矢

- 情報基盤整備事業
- 急傾斜地の指定

主査

廣瀬 敏雅

- 補助急傾斜地事業
- 災関急傾斜地事業
- 急傾斜地崩壊対策の技術基準

☎3043

土砂災害
110番
☎3044

主査

三谷 真史

- 土砂災害防止法
- 基礎調査

技師

清 憲三

- 土砂災害防止月間等
- 土砂災害防止講習会

砂防協会

樋口 奈保子

- 砂防協会関係の事務・経理

※指定地管理及び砂利・碎石関係事務等については、「河川砂防管理課」で担当します。

河川砂防管理課 ☎3028 (課長)松本忠智

河川砂防管理班 ☎3034 (班長)小澤和弘 (主査)望月志恵 (主事)長谷川和也

【平成25年度の行事予定】

月 日	時刻	活 動	会場等
4月 25日(木)	11:00	全国治水砂防協会静岡県支部会計監査	静岡市内
5月 22日(水)		(社)全国治水砂防協会平成25年度通常総会	砂防会館(東京都)
// 29日(水) ~31日(金)		平成25年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会「静岡大会」	静岡市民文化会館ほか
6月 1日(土)		みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の開催	静岡市(青葉シンボルロード)
// 1~ 7日		がけ崩れ防災週間	静岡県内各地
// 1~30日		土砂災害防止月間	静岡県内各地
// 2日(日)		土砂災害に対する全国統一防災訓練	静岡県内各地
// 7日(金)	14:15	全国治水砂防協会静岡県支部役員会	静岡市内
// 7日(金)	15:00	全国治水砂防協会静岡県支部平成25年度通常総会	静岡市内
8月 下 旬		市町長等砂防事業県外視察	未 定
11月 上 旬		市町等砂防担当職員研修	未 定
// 中 旬		東海4県協会支部長・砂防課長合同会議	愛知県
// 19日(火)	11:00	土砂災害から人命と地域を守る砂防会議	砂防会館(東京都)
2月 中 旬		砂防および地すべり防止講習会	砂防会館(東京都)

※ 太字の行事について、会員の積極的なご参加をお願い申し上げます。

土砂災害防止月間 **6月1日▶30日** がけ崩れ防災週間 **6月1日▶ 7日**

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害は、主に雨などが原因となって発生します。梅雨時は雨が多く土砂災害が発生しやすい時期です。近年は異常な集中豪雨による被害が増えていますので、雨が降りだしたら気象情報などに注意しましょう。

毎年、6月を土砂災害防止月間として、県民が土砂災害防止について理解し関心を深めるため、国、県、市町などの関係機関が連携し、防災パトロール、啓発チラシの配布、講習会を実施しています。

行 事 予 定

6月 1日	みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の開催(青葉シンボルロード)
6月 2日	土砂災害に対する全国統一防災訓練
6月1~30日	急傾斜地パトロール(重点実施)
6月1日~ 9月15日	土砂災害防止に関する作品募集



2012みんなで防ごう土砂災害(土砂災害防止説明会)の様子

平成25年度

当初予算

砂防関係
予算

95億9,667万円余

平成25年度当初予算が平成25年2月県議会定例会において可決され、静岡県一般会計の歳出総額は1兆1,391億円で、前年度に比べ85億円の増、対前年度比100.8%でした。

砂防関係事業の予算総額は95億9,667万円で、前年度より約3,103万円の減、対前年度比99.7%となりました。主な内訳は次のとおりです。

1 一般公共事業

64億9,100万円(前年度当初比99.3%)

国の補助や交付金を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行うとともに、「土砂災害防止法」に基づく区域指定のための基礎調査等を実施します。

2 県単独事業

19億7,400万円(前年度当初比100.0%)

国庫補助事業や交付金事業に採択されない箇所について、砂防、地すべり防止、急傾斜地崩壊防止工事を行うとともに、局地豪雨緊急対策、緊急輸送路関連土砂災害対策等を実施します。

3 国直轄事業費負担金

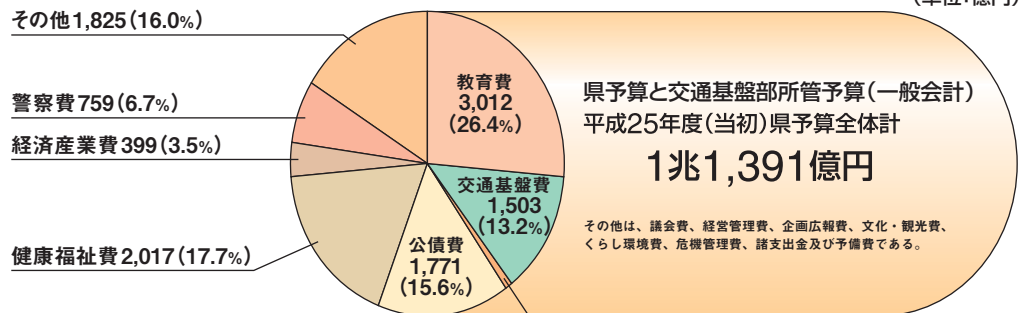
11億1,100万円(前年度当初比100.0%)

富士山、安倍川、狩野川において、国土交通省が行う直轄砂防事業及び、由比地区直轄地すべり対策事業に対する県負担金です。

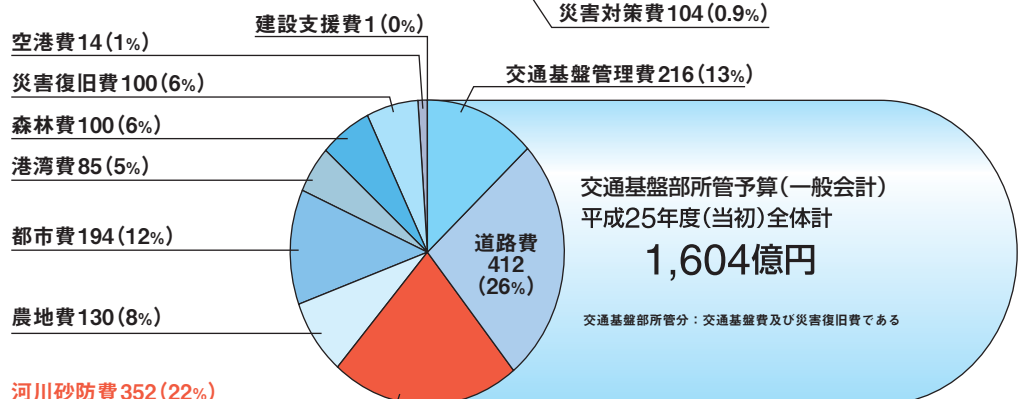
静岡県の砂防関係予算

(単位:億円)

● 県予算と交通基盤部予算 (平成25年度当初)



● 交通基盤部 所管予算 (平成25年度当初)

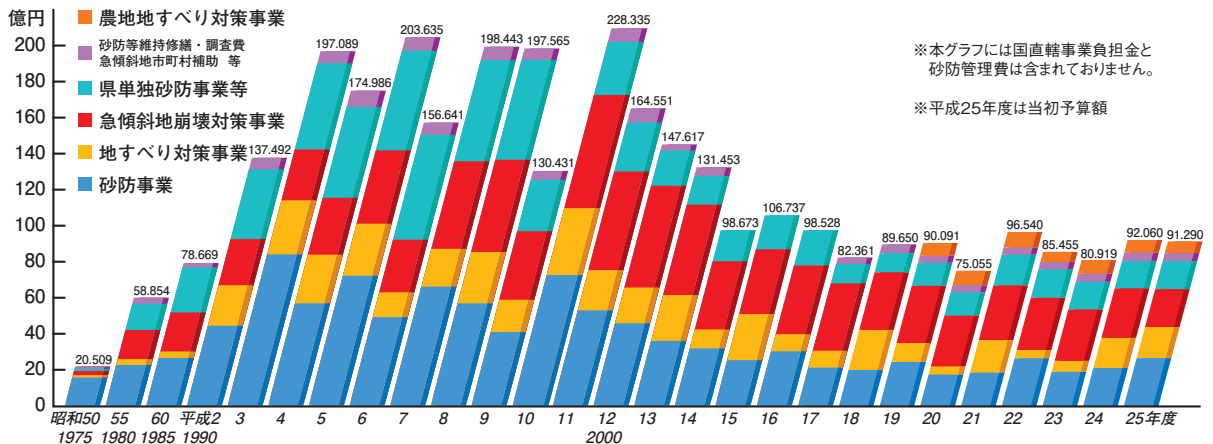


(単位:千円、%)

平成25年度 砂防関係事業等予算額調書

Table with columns: 事業名, 平成25年度 (当初 A), 平成24年度 (当初 B, 最終 C), A/B, A/C. Rows include categories like 砂防管理費, 河川改良費, 海岸費, 社会資本整備, 全国防災, 地域自主戦略交付金, 県単事業, 一般共, 県単, 一般共, 県単.

砂防関係事業費の推移



あなたのまちの安全度

静岡県は、山地が多く、地形的に急峻で、脆い地質が全県的に分布し、15,193箇所もの土砂災害危険箇所があります。

県では、土砂災害から県民の生命・身体を守るため、砂防えん堤・擁壁などの土砂災害防止施設の整備(ハード対策)とともに、住民への危険箇所の周知(ハザードマップの配布、危険箇所表示板の設置)、土砂災害警戒情報伝達機器の整備などのソフト対策を実施しています。

市町別土砂災害危険箇所数とソフト対策の実施状況

(平成25年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土砂災害危険箇所数				土砂災害警戒区域指定状況				警戒区域 ハザード マップ	危険箇所 表示板 設置数	情報機器の整備	
		土石流	地すべり	急傾斜地	計	土石流	地すべり	急傾斜地	計			機器の種別	設置年度
下田	下田市	235		311	546	235		315	550	6	238	CATV、メール	H14
	東伊豆町	23	6	56	85	22		55	77		57	CTI、電話応答	H22
	河津町	92	5	112	209	9		11	20		110	CATV、有線電話、メール	H14
	南伊豆町	252	1	245	498	27		51	78		215	メール	H14
	松崎町	92	1	128	221	94		127	221		144	CTI、同報無線、メール	H16
	西伊豆町	86	1	116	203	87		124	211	211	136	CTI、電話応答、メール	H19
	小計	780	14	968	1,762	474		683	1,157	217	900		
熱海	熱海市	98	1	167	266	80		114	194		202	CTI、同報無線	H16
	伊東市	105	2	216	323	60		110	170	152	169	CATV	H15
	小計	203	3	383	589	140		224	364	152	371		
沼津	沼津市	116		169	285	104		139	243	104	180	同報無線	H15
	三島市	23		82	105			30	30	30	55	同報、電話、CTI、メール	H17
	御殿場市	30		7	37	30		7	37		17	同報無線戸別受信機	
	裾野市	44		38	82			5	5		54	同報無線戸別受信機	
	伊豆市	480	8	371	859	217		168	385		627	CTI、電話応答、メール	H18
	伊豆の国市	103	1	198	302	100		186	286	286	135	同報無線、電話応答	H15(旧大仁)
	函南町	32	1	74	107	2		9	11		46	メール	H21
	清水町	2		16	18	2		5	7	7	7	戸別受信機	
	長泉町	2		29	31			3	3		13	同報無線戸別受信機	
	小山町	47		61	108	47		57	104		71	同報無線戸別受信機	
小計	879	10	1,045	1,934	502		609	1,111	427	1,205			
富士	富士宮市	107	1	275	383	65		166	231	180	186	同報、電話、メール	H16、H20
	富士市	57	1	168	226	19		105	124	80	84	コミュニティFM送信	H17
	小計	164	2	443	609	84		271	355	260	270		
静岡	静岡市	919	11	1,783	2,713	385		718	1,103	177	1,366	CTI	H18
	小計	919	11	1,783	2,713	385		718	1,103	177	1,366		
島田	島田市	198	26	493	717	102		221	323	206	379	インターネット	H14
	焼津市	24	1	48	73	25		41	66	66	57	電話応答	H23
	藤枝市	205	27	446	678	126		232	358	306	325	藤枝CTI 岡部、同報無線	H14
	牧之原市	44	2	320	366	9		147	156	156	66	同報無線戸別受信機	
	川根本町	42		143	185	42		131	173	173	184	同報無線	H19
	吉田町			6	6						2	同報無線戸別受信機	
	小計	513	56	1,456	2,025	304		772	1,076	907	1,013		
袋井	磐田市	66		211	277	33		115	148	85	44	CTI、メール	H19
	掛川市	134	11	881	1,026	92		503	595	492	149	同報無線、電話応答、メール	H15、H16
	袋井市	32		220	252	29		173	202	70	45	CTI	H16
	菊川市	44		423	467	27		242	269	115	98	CTI、メール	H16
	御前崎市	12		324	336	6		149	155	101	26	同報無線戸別受信機	
	森町	59	5	364	428	1		25	26	3	54	同報無線、電話応答	H15
	小計	347	16	2,423	2,786	188		1,207	1,395	785	416		
浜松	天竜区	292	66	898	1,256	266		802	1,068		567	CTI、同報無線	H13~H15
	天竜区以外	148	5	1,183	1,336	67		452	519		278	同報無線、電話応答	H15(旧引佐)
	浜松市計	440	71	2,081	2,592	333		1,254	1,587	808	845		
	湖西市	2		181	183			121	121	97	50	戸別受信機、メール	
	小計	442	71	2,262	2,775	333		1,375	1,708	905	895		
合計		4,247	183	10,763	15,193	2,410		5,859	8,269	3,911	6,436		

■警戒区域ハザードマップ：土砂災害防止法7条3項に定められた、市町村が作成するハザードマップ ■CTI：予め登録された住民の方々へ自動的に電話連絡するシステム
 ■設置年度：土砂災害情報相互通報システム整備事業で設置した年度、空欄は他事業による整備を示す。



静岡県の土砂災害情報は、
<http://sabougis.pref.shizuoka.jp/>
 でご覧になれます。

に、「土砂災害防止法」に基づく土砂災害警戒区域等の区域指
 注対策を合わせた、総合的な土砂災害対策を進めています。

市町別ハード対策(土砂災害防止施設の整備)の実施状況

(平成25年3月31日 現在)

所管 土木	市町名	土石流			地すべり			急傾斜地			合 計		
		要対策 渓流数	概 成 渓流数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)	要対策 箇所数	概 成 箇所数	整備率 (%)
下田	下田市	94	16	17.0				164	29	17.7	258	45	17.4
	東伊豆町	16	8	50.0	6	1	16.7	38	7	18.4	60	16	26.7
	河津町	53	14	26.4	5	2	40.0	44	13	29.5	102	29	28.4
	南伊豆町	119	10	8.4	1	1	100.0	131	39	29.8	251	50	19.9
	松崎町	71	7	9.9	1	1	100.0	77	21	27.3	149	29	19.5
	西伊豆町	64	17	26.6	1			67	18	26.9	132	35	26.5
	小 計	417	72	17.3	14	5	35.7	521	127	24.4	952	204	21.4
熱海	熱海市	91	17	18.7	1			95	13	13.7	187	30	16.0
	伊東市	82	23	28.0	2	1	50.0	110	25	22.7	194	49	25.3
	小 計	173	40	23.1	3	1	33.3	205	38	18.5	381	79	20.7
沼津	沼津市	96	20	20.8				128	68	53.1	224	88	39.3
	三島市	15	2	13.3				39	16	41.0	54	18	33.3
	御殿場市	8	6	75.0				3			11	6	54.5
	裾野市	23	10	43.5				24	6	25.0	47	16	34.0
	伊豆市	328	61	18.6	8	1	12.5	148	39	26.4	484	101	20.9
	伊豆の国市	74	3	4.1	1			82	29	35.4	157	32	20.4
	函南町	14	4	28.6	1			32	6	18.8	47	10	21.3
	清水町	2	1	50.0				11	1	9.1	13	2	15.4
	長泉町	1						18	3	16.7	19	3	15.8
	小山町	35	10	28.6				37	20	54.1	72	30	41.7
小 計	596	117	19.6	10	1	10.0	522	188	36.0	1,128	306	27.1	
富士	富士宮市	66	16	24.2	1			81	21	25.9	148	37	25.0
	富士市	48	16	33.3	1	1	100.0	55	30	54.5	104	47	45.2
	小 計	114	32	28.1	2	1	50.0	136	51	37.5	252	84	33.3
静岡	静岡市	540	122	22.6	11	3	27.3	654	292	44.6	1,205	417	34.6
	小 計	540	122	22.6	11	3	27.3	654	292	44.6	1,205	417	34.6
島田	島田市	83	16	19.3	26	7	26.9	132	69	52.3	241	92	38.2
	焼津市	13	7	53.8	1	1	100.0	25	20	80.0	39	28	71.8
	藤枝市	69	26	37.7	27	7	25.9	117	59	50.4	213	92	43.2
	川根本町	23	4	17.4				33	11	33.3	56	15	26.8
	牧之原市	13	11	84.6	2	3	150.0	57	23	40.4	72	37	51.4
	吉田町							3	2	66.7	3	2	66.7
	小 計	201	64	31.8	56	18	32.1	367	184	50.1	624	266	42.6
袋井	御前崎市	1						33	18	54.5	34	18	52.9
	磐田市	20	1	5.0				33	3	9.1	53	4	7.5
	掛川市	39	1	2.6	11	7	63.6	102	23	22.5	152	31	20.4
	袋井市	7						30	10	33.3	37	10	27.0
	菊川市	9	2	22.2		1		84	32	38.1	93	35	37.6
	森町	23	5	21.7	5	1	20.0	26	3	11.5	54	9	16.7
	小 計	99	9	9.1	16	9	56.3	308	89	28.9	423	107	25.3
浜松	天竜区	128	47	36.7	66	22	33.3	306	70	22.9	500	139	27.8
	天竜区以外	43	9	20.9	5	3	60.0	281	63	22.4	329	75	22.8
	浜松市計	171	56	32.7	71	25	35.2	587	133	22.7	829	214	25.8
	湖西市							54	9	16.7	54	9	16.7
	小 計	171	56	32.7	71	25	35.2	641	142	22.2	883	223	25.3
合 計		2,311	512	22.2	183	63	34.4	3,354	1,111	33.1	5,848	1,686	28.8

■土石流危険渓流はH15公表による危険渓流 I ■急傾斜地崩壊危険箇所はH15公表による危険箇所 I

平成24年度

「土砂災害防止に関する絵画・作文」 優秀作品の表彰

平成24年度に、土砂災害防止月間の一環である「土砂災害防止に関する絵画・作文」を募集したところ、静岡県内では、133件の応募がありました。県内における地方審査と国の中央審査の結果、6作品が入賞しました。

3月21日に県庁で行われた表彰式では、ご家族の方々が見守る中、長島静岡県交通基盤部長より入賞された皆さんに表彰状が授与されました。



受賞者のみなさん

■栄えある受賞者のみなさん

賞	部門	学校名	学年	氏名
静岡県知事賞	絵画	浜松市立気賀小学校	2年	伊藤 伊織
静岡県交通基盤部長賞	作文	静岡市立梅ヶ島中学校	2年	藤井 秀峰
全国治水砂防協会 静岡県支部長賞	絵画	掛川市立城北小学校	6年	橋本 章寛
	絵画	富士市立富士中学校	1年	軍地 佑介
	絵画	富士宮市立富士宮第一中学校	3年	石黒 真由
	絵画	湖西市立新居中学校	3年	桑原 佑奈

※学校・学年は応募当時のものです。

静岡県知事賞〈絵画の部〉

浜松市立気賀小学校
2年
伊藤 伊織 さん



静岡県交通基盤部長賞〈作文の部〉

「乗りこえた喜び」
静岡市立梅ヶ島中学校 2年 藤井 秀峰 さん

僕が暮らしている梅ヶ島は、土砂災害が一年に一回は必ず起こる。昨年は九月下旬に大型の台風が来て、県道が崩れた。この県道は今でも崩れたままだ。今年の六月十四日には、梅ヶ島と静岡市街を結ぶたった一本の県道が再び崩れた。すぐ修復し始めたが、その後来た台風により、修復したその道がまた流されてしまった。そして六月二十三日には、道のすぐとなりにある山が崩れて、また道がふさがってしまった。この時、電柱も倒れてしまい、梅ヶ島は電気が一時使えなくなった。その日は、電気が使えなかったため、電気製

品はもちろん、水をくみ上げるポンプも動かなかったため、水も使うことができなかった。電気が復旧したのは夜十時だった。昼の一時くらいから、約九時間ずっと電気が止まっていたことになる。

土砂災害が起きた道は、梅ヶ島と町をつなぐたった一本の道なのだ。そのたった一本だけの大切な道が、二年間で三度も崩れてしまったのだ。バスや給食を運んでくるトラックが来なくなり、電気も来なくなり、とても不便な生活となった。たった一本の道が崩れてしまうことが、これほど大変なことなのだということを痛いほど知った。

大きな土砂災害があったけれど、過去にも同じように大きな土砂災害があったのか、興味を持ったので、調べてみた。すると驚くべきことが分かった。

梅ヶ島には、大谷崩れといわれる山がある。この山は、千七百七年に起きた大地震と大洪水が原因で大きく崩れた。土砂は一万二千トンという、想像もできない莫大な量が出たそう。この山が崩れたことにより、新田、赤水などいくつかの集落も生まれた。しかし、人が土砂に埋もれたり、家がつぶされてしまったりと、とても大きな被害が出た。

たった一本の道が崩れてもこんなに被害が大きいのに、大谷崩れのように大規模な土砂崩れが起きてしまったら、一体どうになってしまうのだろうか。僕には、全く想像できない。

梅ヶ島はこれ以外にも、過去にたくさんの土砂災害に襲われてきた。そして、そのたびにたくさんの被害にあってきた。そんなことを思うと、昔から梅ヶ島の人々は、土砂災害と戦って、そのたびに苦しみや苦勞をいやというほど知って

生きてきたのだと思う。

そのときふと僕は、東日本大震災のことを思い出した。この地震は大津波が町を流し、二万人以上の尊い命が奪われた。

この地震をテレビの映像や新聞などで見ていて、大きな自然の力を前に圧倒されながらも、それに負けないで生きていこうとしている東北地方の人々の気持ちが伝わってくる。

大谷崩れのような自然の力がいつ向かってくるかは、だれにも分からない。だからこそ、普段の心がけが必要だ。僕たちは自然の力を前に何もできないかもしれない。それでも、一つ一つの土砂災害に関心を持ち、自然災害が起きたときに、僕たちが生きていけるようにきたえるべきではないだろうか。

自然災害は本当にいつ起こるか分からない。一年後かもしれないし、一週間後かもしれないし、今日かもしれない。自然災害は急に起きるから、身構えて、さあ来いという感じにはできない。

だけど、いつ起こってもいいように準備することならできる。災害を想定して、もしも電気や水が使えなくなった時、どうすればいいかということを考えることならできる。

いざという時には、中学校でしている防災訓練も、防災グッズも、それからためている水も役に立つ。こういったことを日本中の全員がすれば、自然災害を乗り越えることができると思う。

自然災害後の生活はきっと厳しくなるだろう。しかし、その自然災害を全員で乗り越えることで、日本の自然災害はあまり恐ろしいものには感じないようになると思う。

全国治水砂防協会静岡県支部長賞 〈絵画の部〉

掛川市立城北小学校

6年 橋本 章寛 さん



富士市立富士中学校

1年 軍地 佑介 さん



富士宮市立富士宮第一中学校

3年 石黒 真由 さん



湖西市立新居中学校

3年 桑原 佑奈 さん



土砂災害警戒区域等の指定に向けた取り組み

土砂災害防止法は土砂災害から住民の生命及び身体を守るため、土砂災害のおそれのある区域（土砂災害警戒区域等）を指定し、土砂災害の危険性の周知や警戒避難体制の整備、宅地開発や住宅建築の規制などを行うものです。

県では、土砂災害危険箇所について基礎調査を行い、地元説明会を開催した後に土砂災害警戒区域等の指定を進めています。

地元説明会は、県の土木事務所と関係市町の職員による協働により開催しており、平成24年度は全県で106回開催し、延べ4,885人に参加していただきました。

このような取り組みにより平成24年度は1,482箇所の区域を指定し、平成16年度の区域指定開始からでは累計で8,269箇所（54.4%）の区域指定となっています。

全国では、平成25年2月現在で指定率が54.4%となっており、既に区域指定が完了している県が4県あります。

このような中、本県では今後も土木事務所や関係市町と連携しながら平成29年度の区域指定の完了を目指し、指定を推進していきます。



説明会の様子

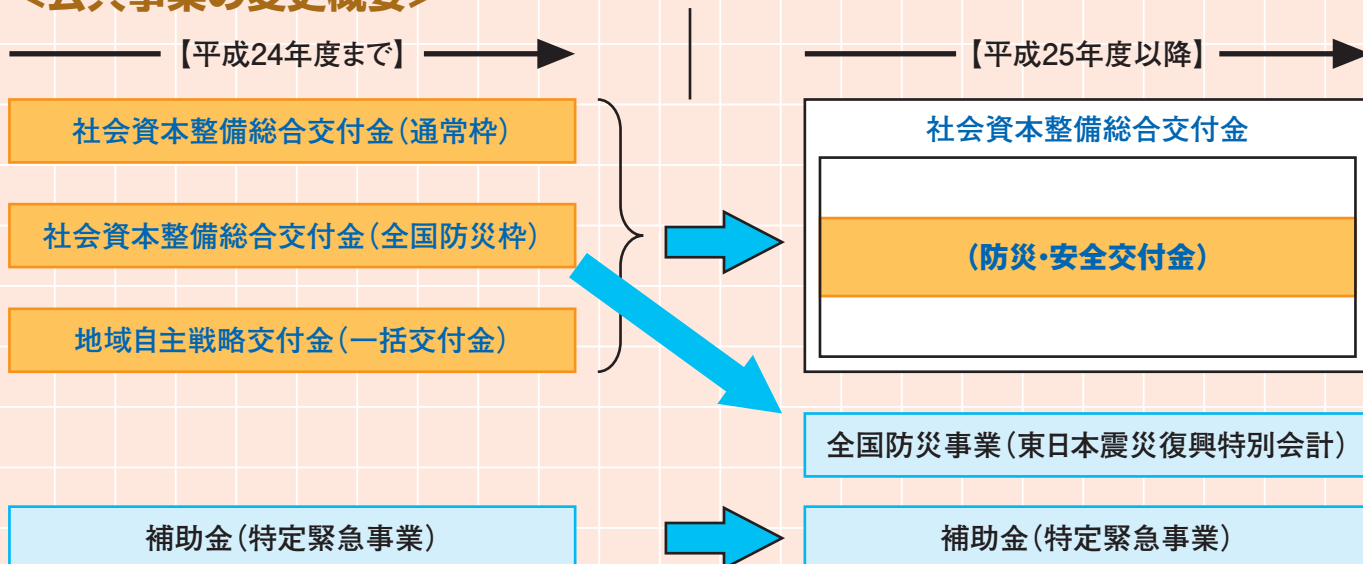


説明会の様子

交付金制度が変わりました!!

平成25年度から交付金制度が変更になります。平成24年度までは通常枠と全国防災枠のある『社会資本整備総合交付金』と一括交付金と言われた『地域自主戦略交付金』がありましたが、平成25年度からは一括交付金がなくなり「社会資本整備総合交付金」と『防災・安全交付金』に変わります。防災・安全交付金の詳細な内容については、検討中とのことですが、支援メニューを防災・減災・安全に資するものに特化し、地方自治体の使い勝手を向上させた交付金となるようです。この他には、災害対応の特定緊急事業などの補助金は従来どおり存続します。

<公共事業の変更概要>



静岡県砂防ボランティア協会総会及び研修会が開催される

1月25日、(社)全国治水砂防協会の岡本理事長を研修会の講師としてお招きして、静岡県砂防ボランティア協会の総会及び研修会が静岡市内で開催されました。

総会では平成25年度の活動計画として、大内グリーンベルト作業会（春の県民森づくり大作戦）や土砂災害に対する全国防災訓練、急傾斜地崩壊危険区域の安全パトロールなど砂防事業に関連した行事への参加などが決定されました。総会後の研修会では、松本砂防課長による県の砂防を取り巻く状況についての説明があり、岡本理事長からは「砂防あれこれ」と題して、経験を踏まえた砂防事業の役割や重要性などの貴重なお話がありました。



総会の様子

砂防及び地すべり講習会が開催される

2月21・22日に、東京都の砂防会館別館で「第53回砂防および地すべり防止講習会」が、全国の砂防関係担当者を対象に開催されました。

講習会に先立ち、砂防行政の発展及び砂防技術の向上に多大な功績があった方々に贈られる赤木賞授与式が行われ、静岡県関係で元砂防課長の森下則雄氏に赤木顕功賞が授与されました。

講習会では、政策研究大学院大学池谷浩特任教授の「土砂災害から命を守るために何が必要か!」の特別講演をはじめ、大野砂防部長の「これからの砂防」、秋田県仙北市立生保内小学校の伊藤教諭の「ふるさとの一員として積極的に活動する火山防災教育をめざして」など、砂防全般におよぶ幅広い講演がありました。



講習会の様子



森下氏の受賞の様子

治山・砂防事業推進議員連盟が砂防関係事業を視察

3月14日、水と豊かな生活環境の創造と安心して暮らせる社会基盤の整備を目標に、砂防関係事業の推進を目指す「静岡県議会 治山・砂防事業推進議員連盟」が静岡市葵区内の現地視察を行いました。

今回の視察には会員62名のうち21名が参加し、平成23年の台風による土砂災害の対策箇所である「桂山沼側」急傾斜事業と「鍵ワ沢」砂防事業を視察されました。

議員のみなさまに熱心に現場の状況を見ていただき、緊急の対応や新工法、コスト縮減などについて活発に意見が出されるなど、土砂災害対策事業の重要性について再認識していただきました。



「桂山沼側」急傾斜事業の視察状況

募 集 コ ー ナ ー

土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

今年度も土砂災害の恐ろしさや土砂災害防止の重要性を伝えるため、絵画・作文を募集します。募集要領については、各小中学校へ送付しますが、下記でもご覧いただけます。

【募集対象】 小中学生 【応募期間】 6月1日～9月15日

【応募方法】 作品には応募者の学校名(ふりがな)、学年、氏名(ふりがな)、を明記して下さい。

【応募先】 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県交通基盤部砂防課 土砂災害対策班

TEL054-221-3044 FAX054-221-3564

詳細は、砂防課ホームページからご覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第5回 親子で大谷崩れの森づくり

日本三大崩れの一つとされる大谷崩れ。今から306年前の宝永地震によって崩壊したといわれています。本来の自然を取り戻すよう、今なお様々な工法によって緑化が行われています。今回は、この大谷崩れに皆さんの手で植樹し、自然・山・水にふれて「いのちの大切さ」を学ぶ体験への参加をお待ちしております。

【募集人員】 小中学生とその保護者20名 【日 時】 平成25年5月25日(土) 8:30～16:30

【参加費】 無料 【集 合】 静岡駅北口 8:45

【問 合 せ】 いのちの森づくり静岡少年団を支援する会 TEL054-246-7767

土木事務所企画係砂防担当者の紹介

県砂防課では、出前講座及び講習会を随時受付けております。

事務所	企画TEL・FAX	担当者
下 田	TEL:(0558)24-2112 FAX:(0558)24-2123	木原 寛 鈴木智美
熱 海	TEL:(0557)82-9171 FAX:(0557)82-9110	鈴木一宏
沼 津	TEL:(055)920-2211 FAX:(055)922-6684	大野正敏
富 士	TEL:(0545)65-2794 FAX:(0545)65-2270	外木崇之

事務所	企画TEL・FAX	担当者
静 岡	TEL:(054)286-9321 FAX:(054)286-9375	又平 学
島 田	TEL:(0547)37-5272 FAX:(0547)37-6183	山本雅朗
袋 井	TEL:(0538)42-3216 FAX:(0538)42-1782	小沼佳記
浜 松	TEL:(053)458-7266 FAX:(053)458-7193	渥美晃岳



【表紙写真】

桜花の春 〈撮影地:田貫湖〉

石島 弘毅さん(静岡県富士宮市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

編 集 ・ 後 ・ 記

この4月より砂防協会事務局員としてお仕事をさせて頂くことになりました樋口奈保子と申します。

今月号より「砂防だより」の編集作業を担当することになりました。引き続き皆様のお役に立てるよう、充実した誌面づくりを目指すとともに、自分自身も砂防について様々な事を学んでいきたいと思っております。

今後とも「砂防だより」をご愛読いただきますよう、よろしくお願い致します。また、ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。

砂防だよりは砂防課ホームページでご覧いただけます。 <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-350/index.html>



第180号 発行日:平成25年4月15日

編集・発行:全国治水砂防協会 静岡県支部

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課内
TEL(054)221-3044 FAX(054)221-3564 E-mail: sabo@pref.shizuoka.lg.jp